

所沢源流の会

所沢源流の会では、川にかかわる文化・歴史の調査、自然環境の調査、環境学習など多彩な活動を実施しています。小規模な団体ですが、文化・歴史の調査など特色のある取り組みを行っています。

■団体の概要

所沢源流の会は、平成14年から活動を始め、現在は10人程度で活動を行っています。会員は60歳を過ぎた人が大半で、会員からの会費や公益法人等からの助成金などで活動しています。会の代表は、埼玉県生態系保護協会が開かれた環境研修会に参加し、その研修会での卒業論文を書いた際、「研究だけではだめだ。実際に行動しないと何も変わらない。志を同じくする人と活動団体を立ち上げよう。」と思い、環境研修会の参加者有志を中心として「所沢源流の会」を立ち上げました。また、立ち上げにあたっては不老川で活動しているグループに参加し、運営手法をまなび、また「柳瀬川流域ネットワーク」に相談しながら、団体の立ち上げ・運営を始めました。

■川にかかわる文化・歴史の調査

昔から柳瀬川はどう変わってきたのか、人との関わりの中での流域の歴史的変遷などを調査しています。また勉強会として柳瀬川以外の河川へ見学に行くこともあります。ゆくゆくは調査結果をまとめ流域マップを作りたいと考えています。

■自然環境の調査

柳瀬川の狭山湖堰堤下流から北川との合流点までの区間で、自然護岸や瀬・淵の分布、河畔林の分布等を調査しました。また、トトロのふるさと財団の協力により河川周辺の草本類調査を行いました。定期的に水生生物の調査を行い、水生生物の変化から川の自然環境の回復の程度をトレースしています。

■環境学習

柳瀬川、地蔵橋近くの荒幡小学校で環境学習に協力しています。子供たちに投網の実演をみせたり、一緒にタモ網で魚をとったりした後、「もし自分が魚だったらどんな川がいいか、どんな川にしたいか。」について話し合っています。今年（平成20年）は、とれた魚種が5種類から9種類に増え、数も倍増しました。メダカが増えてきたと感じています。

■清掃活動

柳瀬川、砂川堀、東川で自治会等の清掃活動を手伝っています。



荒幡小学校環境学習
※所沢源流の会提供写真